

質疑応答・ご意見（要旨）

●はじめに

本書は令和6年6月26日（水）・6月29日（土）に開催しました事業認可取得に伴う事業概要説明会におきまして、ご出席された皆様からのご質問に説明会にて回答させていただいたものについて、一部表現方法を修正・加筆等を行いまして、取りまとめたものです。

また、説明会の中でご出席された皆様からの市に対しての思いやご意見などにつきましては、本書の後段にて取りまとめております。

◎主なご質問について

●事業計画に関すること

- Q. 計画道路の幅員構成では、自転車は車道を走るということになっているが、これだけの幅があれば、自転車専用レーンを設けた方がいいのではないかと。
- A. 今、お示しさせていただいてます道路の幅員構成は、以前（予備設計段階）に警察と協議して了解もとの構成になっています。今後、法令改正、基準変更、警察との協議の中で、自転車の通行帯の必要性などもしっかり協議した中で検討を進めて、最終的な工事に進んでまいります。
- Q. 令和13年度までの計画は分かったが、次の計画として、どこをどういった形で進めていくのか。
- A. 都市計画道路法善寺築留線の整備後は、柏原駅東地区のまちづくりとして、人々が集い、交流が生まれる駅前空間の整備を目指しており、柏原駅東口の駅前広場や駅へのアクセス道路の整備を検討しております。
- Q. 車椅子同士のすれ違いができる幅員として3.5m必要とお聞きしたが、車椅子の通行量が、現在いくらで、工事完成後どれくらい増えるという見込みで決められたのか。
- A. 車椅子の交通量調査は行っておりません。交通量調査としては歩行者の交通量を調査しております。
- Q. 柏原東小学校の交差点の通行量について、交差点を東西に渡ったのか、交差点を南北に渡ったのか（要は柏原駅向きなのか、それとも柏原東小学校向きなのか。）、人数がどれくらいなのかについて、調査をお願いします。
- A. 今後調査させていただきます。
- Q. 幅員12mから16mに変更となった昭和47年の際には、大阪府による説明会は行われたのか。地元の住民等への説明はあったのか。大阪府に開示請求すれば、当時の記録は頂けるのか。
- A. 一般的に都市計画事業では、計画変更があったときに住民の皆様、地権者の皆様に周知されます。最近では平成25年に都市計画道路の見直しを行った際にも地権者の皆様に案内させていただいて、説明会を行っております。

昭和47年の変更につきまして、柏原市には計画変更したという記録はありますが、説明会を行ったか、どの様に周知したかについての記録は残っていません。当時の記録については大阪府からの回答となりますので、当時の記録が頂けるかどうかについては、申し訳ありませんが、市のほうでは分かりません。

Q. 道路の幅を広げることによる路上駐車増加や、スピード超過の可能性のあることについてどう考えているのか。

A. 道路交通法に準じた運転をしていただくことが基本と考えています。スピードを出される方につきましては、取締りを行う所轄警察と連携して、そういうことがないように努めてまいりたいと考えております。安全対策についても横断防護柵やスピードが出にくいような対策等を検討してまいります。

Q. 2年ほど前に、柏原東小学校のところに車が突っ込んだと全国ニュースになったが、今回の事業に関係しているのか。

A. それに関しては、特に関係ありません。

Q. 現在事業中の優先区間で、このような説明会を行ったのか。

A. 優先区間につきましては、事業認可を取得せずに事業を進めているため、権利者の皆様には個別説明をさせていただきました。

Q. 柏原駅西側の改修工事に合わせて、東側ロータリーを整備する計画はなかったのか。

A. 当時の計画は、あくまで西側だけを再開発する計画であり、東側に関しましては、特に上がっていませんでした。

●用地・補償に関すること

Q. 駐車を災害時（地震・火事）の一時的な避難場所として消防に申請している。用地買収により駐車場がほとんどなくなった場合、歩道を一時的な避難場所として使用してもいいのか。今後、消防への相談が必要となるが、どの段階で相談すればいいのか。

A. 柏原市も協力しまして、消防本部にどういう形をとれるのか、どういう形をとったらいいのかなど、これから一緒に考えて進めていきたいと思っています。

◎市に対しての思いや主なご意見について

●都市計画道路（事業認可）について

- ・通学路の安全と道路整備は切り分けて考えるべきである。都市計画道路としての整備では、時間が掛かる。本気で子どもの安全を考えるならば、時間帯での交通規制や一方通行等の対策を優先すべきであると思います。
- ・柏原市の南北道路は十分であり、柏原市の弱い点は東西道路である。大阪府事業である大県本郷線が国道170号（外環状線）から旧国道170号へ繋がるのが大事だと思っています。
- ・60年前、50年前の道路拡幅の計画が今の時代にあったものなのか。これからの柏原市に合ったものなのかと疑問に思います。
- ・防災拠点を結ぶ道路整備というのであれば、司令塔である市役所と市民病院や消防署を結ぶべきであり、今回の計画から先の安堂北、安堂交差点の計画が必要ではないかと思っています。
- ・防災拠点として柏原東小学校、文化センターをあげているが、この前まで小学校を無くすことや文化センターを取り壊す話がでており、柏原市に対してすごく不信感があります。

●柏原駅前、堅下駅周辺について

- ・柏原駅西地区の整備は成功だったのか。一般的に、年度ごとでの総括をすると思いますが、出費に見合うだけの成果が上がったのか疑問に思います。
- ・柏原駅前にどんな発展を望んでいるかを考えた上で道路計画を造らない事には道路のための道路計画になってしまうと思います。
- ・堅下駅周辺の渋滞について、オガタ通りが一方通行であるのは仕方ないが、踏切で車が鉢合わせして止まっている。そういったことを真っ先に解決すべきではないかと思っています。

●市の道路行政に対する思いについて

- ・道路拡幅が計画された時代は、車社会であり国道25号も混んでいたが、だんだん車も減少し、学童も減少している。子供の安全のために、市は今まで何をやってきたのか疑問に思います。
- ・今回の計画道路よりもっと狭いところ、建物が倒れてきそうなところはいっぱいある。そんなところに対しての指導が行われているのか疑問に思います。

- ・全体像がみえない中でやっているから、無駄が生じるのではないかと。市の方たちは自分のお金では無いと思っているかもしれないが、市民目線で考えてほしい。無駄使いし過ぎると思います。
 - ・道路を何回もやり直するぐらいなら、もう少し住みやすい街にして住民を誘致してもらいたいと思います。
 - ・立派な道路が出来ても、住民が全然いない状態では、悲しいと思います。
 - ・この事業は、長い間ほっておいて、人が多いとき車が多いときに全然手つかずで、大県本郷線のアンダーパスが出来るから、慌ててするようにみえます。
- その他のご意見などについて
- ・地権者の思いとしては、柏原が発展するなら協力しないといけないと思うが、私たちが犠牲にしてまでしていかないとあかんことなのか。
 - ・この道路事業は、後々の子供たちに借金を残すことになるのではないかと。本当に正しいお金の使い方なのか。
 - ・産業など押せるものが無いので、そちらに予算を回すことも出来るのではないかと。
 - ・柏原東小学校前で事故があったが、人間が運転している限り無茶苦茶な運転する人がいます。道路を広くすれば事故も起きる。道路を広くすれば良いってものでもない。
 - ・柏原市には、もっと密集したところや緊急車両が入らないようなところがいっぱいある。目立つ道だけを整備するのではなく、一番の優先順位は何なのか。市民の何を守ろうとしてくれているのか。
 - ・図書館やサンヒルでもお金使おうとしている。1つの街として皆で考えてほしいと思う。